

令和2年度全国学力・学習状況調査の結果概況について

令和2年9月30日
当別小学校校長 昇 洋一

今年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症にかかわる学校教育への影響等を考慮し中止となりましたが、当別町として、全学年を通じた学習指導の改善・充実に活用するために8月の夏休み明けに実施させていただきました。今年度は、全国、全道との比較はできませんが、自校で分析した結果の概況をお知らせいたします。

国語

国語には、【話すこと・聞くこと】【書くこと】【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】の4つの領域があります。この度の学力調査では、【書くこと】【読むこと】【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】の一部において、やや課題が見られました。ただし、無回答が少なく、粘り強く取り組んだ様子が見られました。

<改善に向けての方策>

【書くこと】

文章の内容に対する自分の考えを明確にし、指定された条件に基づいて、その理由をまとめて書く力が求められています。授業では、自分の考えを記述する活動や、まとめや振り返りを行う際に、文字数を制限したり、条件付けを行ったりするなどの取組等を進めます。

【読むこと】

場面の様子や登場人物の心情などの叙述を基に、自分の考えをまとめることが求められています。授業では、叙述を基にした表現に着目したり、自分の考えをまとめ、友達との交流を行ったりするなどの取組を意図的に進めます。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

適切な漢字を書くことや主語と述語の関係や修飾語と被修飾語の関係においては、理解の定着を図るための丁寧な指導を進めます。

ぜひ、ご家庭でも家庭学習を行う際は、漢字の学習などとともに、積極的に読書の時間を作るようお願いいたします。日常的に多くの文書に触れる機会を持たせていただければと思います。

算数

算数には、【数と計算】【量と測定】【図形】【数量関係】の4つの領域があります。この度の学力調査では、【数と計算】【図形】【数量関係】の一部分において課題が見られました。算数においては、粘りよく取り組むも、国語に比べやや無回答が見られました。

<改善に向けての方策>

【数と計算】【図形】【数量関係】

一般的に「計算で正しい解を求める」「正しく作図する」等の問題については、正答率が高くなります。反面、「この式は何を意味しているか説明しなさい」「求め方を言葉や式で書きなさい」という記述式の問題においては、正答率が低くなります。かつては、正しい解を求めることに重きを置いてきましたが、これから求められる力は、【情報を活用し、解き方やその意味を自分の言葉で説明する(書く)力】です。国語同様に、学習の中で意図的にこのような学習活動の場面を設定し、経験を積みさせていきます。

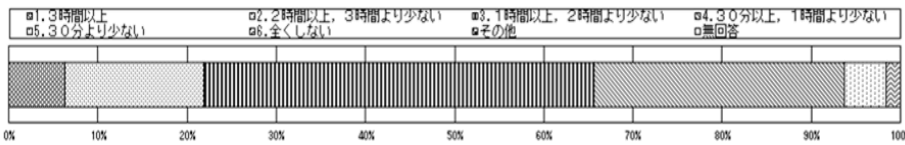
特に今回の結果で定着しづらい学習内容は、第4学年の「面積」「小数のたし算・ひき算」「グラフ」。第5学年の「角柱と円柱」「分数のたし算・ひき算」「割合」です。該当の学年だけでなく、授業で活用する際は、全学年の復習として扱うなどの工夫を凝らして進めます。また、その基礎となる3年生以下の学年では、より丁寧に、四則計算や小数、分数の理解を図ります。

ご家庭でも家庭学習を行う際は、上記の学習内容に取り組んでみたり、日常の単元テストの間違いをそのままにせず、もう一度、家庭学習ノートを活用して解いてみたりするなど、ぜひ、チャレンジしてみたいと思います。

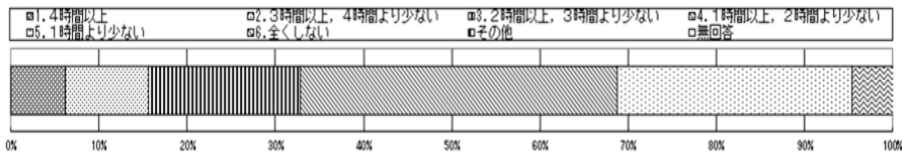
児童質問紙に見る特徴的な傾向

～ 一部を抜粋 ～

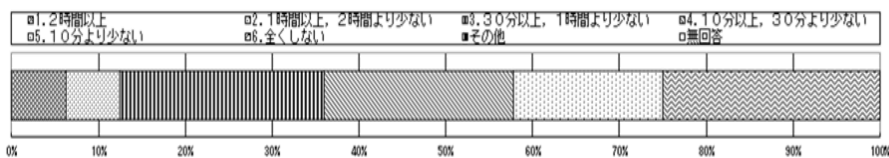
【問】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時、勉強をしますか。



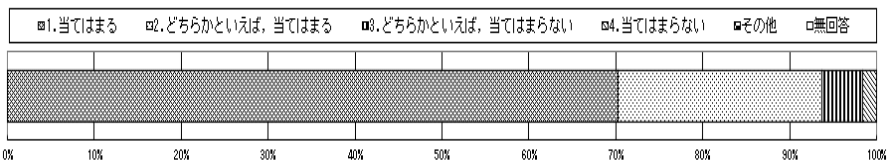
【問】土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



【問】学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。



【問】人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



他にも

◇家の人と学校での出来事を話していますか。

◇夢や目標を持っていますか。

◇難しいことでもあきらめずに挑戦していますか。 …等々

家庭での平日の平均学習時間は、30分以上2時間未満が多い傾向です。また、別の質問項目では、「自分で計画的に取り組んで学習を進めている」という児童の割合も高いことから、家庭学習が定着してきている様子が見られます。ただ、休日になると学習時間が減る傾向があるため、時間のある土日にこそ、自分の課題にじっくり挑戦する時間が作れるとよいのではないのでしょうか。ぜひ、その際は、読書も取り入れてほしいと思います。

また、人の役に立ちたいという社会貢献の意識と共に、別の質問で夢や目標をもっているという自己実現への思いを強く抱いている子供たちが多く、大変頼もしく思います。

学校と家庭が共に力合わせて！！

3つの取組！！

1. 基本は、『生活習慣』

TVやゲーム、スマホは時間とルールを決めて。

2. 集中できる環境で

TVや音楽を消して、きれいな机の上で。

3. 毎日の積み重ねを自信に

大人が子どもを認め、励ます。

当別小学校では、「ドリカムプロジェクト」による学力の定着、向上、授業改善の取組を行います。

- ①TT、少人数指導、個に応じた指導の充実
- ②授業では、意見を交流したり、まとめたりする活動を通して達成感・満足感を味わわせることができる場面の設定
- ③学年の発達段階に応じた家庭学習の習慣化 等

学校では、各種調査やアンケートの結果の分析を行いながら、本校児童のよさや課題を明らかにし、一人ひとりの児童がよりよく生きるために必要な力を全教職員で育てていきます。今後とも、保護者、地域の皆様のご支援と協力をお願いいたします。